

381 中央大学第九回武道大会

〔法学新報〕第25卷1(282)号 大正4年1月1日

○中央大学第九回武道大会 中央大学学友会柔道部に於ては去る十一月二十三日午前八時より秋季大会を同大学講堂に開催したり本年秋季柔道界の最後の大会として花らしく奮闘すべく部員諸氏は数週前より用意をささ怠りなかりき、さて当日は午前部員の紅白勝負を為す大将を承はるは紅に近藤白に神崎にし

て先陣は紅に乾白に金子なりき白軍の金子未だ紅顔の少年なれとも能く敵二人を倒して尚引分けたるは天晴れなり白軍は尚中堅の小野美事に敵三人を倒して引分けたる剛勇には敵味方共に舌を捲けり然るに白軍漸く南風競はず大将神崎は敵の三将西と相戦ふて引分となり紅軍は大将副将を残して勝利の栄冠を得たり午後一時より都下各学校選手無段者二本勝負を行う此二本勝負を終るや既に薄暮伊藤会長の挨拶ありて愈々有段者勝負に入る会衆は愈々多く選手は愈々龍驤虎闘の壯觀を現せり

15○ ○	13 ○	11 ×	9○ ○	7○ ○	5 ○	3 ○	1 ○	14 ○	12 ×	10 ×	8 ×	6○ ○	4○ ○	2 ○
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
二段	二段	初段	初段	初段	初段	初段	初段	二段	二段	初段	初段	初段	初段	初段
安保	中摩	水野(深田)	及川(東協)	齋藤(高師)	岡田(京北)	福井(一高)	荒木(京北)	喜多	山内(高師)	片岡(深田)	居藤(早中)	伊藤(講)	三浦(深田)	永田(外語)
桜庭(高師)	守分(高師)	伊藤	吉田	辻村	松本(講)	竹花(吉田)	吉田(青師)	小林(一高)	荒野(明大)	長富(日大)	大部	平野	小池(帝大)	塩野(講)

右終て当日の呼物たる高点勝負を開始す先つ無段者中二本勝負に於て勝利を得たる者のみを以て一本勝負にて始む深田道場の石黒及び本校の杉野の二本抜等優勝者の如く見えしに大成中学の藤生五尺九寸の巨軀を以て四人を倒して遂に当日抜群の榮譽を荷へり次点者同志猶勝負して遂に本学の杉野二等となる続いて有段者の高点勝負あり講道館の初段伊藤二人抜の後引分となり最後に二段桜庭(高師)と引組んで引分となり遂に一等賞となり桜庭二等賞となる時正に八時半都下各学校にして参加せるもの四十組合の数八十有余組来賓及び高段者来会せらるるもの約三十名当日は伊藤会長永岡師範を始めとして山下、内田、三船、中野等諸師範の来会ありて頗る盛会なりし又同二十九日寒氣稍厳くして武術大会好適の日剣道部に於ては大会を中央大学講堂に開催す是れ今秋に於ける都下最終の大会のこととて各中学師範専門学校並に各警察道場の一流選手集まること一百五十余名実に近年稀有の盛会たり午前十時中山師範審判の下に本学部員紅白勝負行はる各三十余名日頃練磨の手腕を發揮せんこと各々特意の技を以て敵にあたり或は倒し或は破れ暫しは一勝一敗の勢なりしも中堅奮闘の結果紅軍稍々優勢を示せり然るに白軍遠山の活動目覚しく見る見る三名を倒して紅軍の三将萩原に及ぶ闘合ふこと数分時遂に遠山も萩原の技に悩まれて兜を脱く萩原山崎に破れ山崎は紅の副将相浦に抜かる白軍の副将石渡独特の面にて相浦を倒し紅軍の大将高野を屠らんと突撃したれとも能はず遂に小手を破られて倒る愈々白軍の大将長山対高野の決戦なり勝敗何れと思ふ一瞬時長山の妙技其功

を奏し竹刀は高野の面に及ぶ紅軍咄然白軍莞爾たり午後一時より各学校選手三本勝負を行ふ其数七十余組主なる勝負を示せば

品授与を行ひ式了て一同歓声裡に開散せしは正に午後七時なり  
き(委員報)

慶大小西対遠山(勝)、高商明石対萩原(勝)、錦警高橋対鷹木(勝)、高商清水(勝)対木村、曹大関対山崎(勝)、帝大清水(勝)対石渡明大萱島対相浦(勝)、東協中西対長山(勝)、高師古地対高野(勝)、農業青木対佐藤(分)、高師森田(勝)対武藤、微神米本(勝)対矢沢、高師森田対遠山(勝)、帝大天津留対山本(勝)、明大菰田対一番ヶ瀬(分)の如し、本部長非常の好成績にて殊に山崎の大軀六尺の関を倒したるは天晴といふべく相浦の萱島を破りたる長山の中西を美事に抜きたる亦賞すへし高野か古地の鋭鋒を避けて勝を制し遠山か森田を倒したる亦見るへし石渡武藤矢沢の敗は遺憾といふべく山本の帝大大津留を破りたる手腕に至りては尚往年を忍ふに足る菰田対一番ヶ瀬、是れ当日勝負中の白眉たり其元氣其手練の見事なる到底筆舌の及ふところにあらず会長挨拶に次て細田先生の居合、中山先生中野中山両氏の神道夢想流杖術の形あり続て各中学師範選手一本抜高点勝負を行ふ其結果郁文中学天辰五人抜にて一等金牌を得麻布中学栗谷四人抜にて二等銀牌附属中学古宮三人抜にて三等銅牌を得たり午後五時より各専門学校選手紅白勝負を行ふ紅軍は大将米本以下三十二名白軍は大将矢沢以下同数たり両軍全力を尽して勝を争ひしか結局白軍の副将遠山の為めに紅軍は大打撃を受け副将近藤に破れ大将米本も亦遠山に倒されたり此勝負の功に依り遠山は金牌を、大島、阪本、石渡、山崎、清水、萩原、明石、秋山、中西の諸氏は銀牌を得たり最後に賞